（別紙4（2））

事業所名　グループホーム若宮

作成日：　平成　22年　　4月　　1日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	ご家族アンケートより「もう少し外出の機会を！」の意見が多かった。	喫茶店に毎月出かける。ご家族の希望に添えるよう外出の機会を多く持つ。	喫茶店のモーニング、年間行事での外出は継続し散歩、買い物、地域で行われている憩いのサロン等に、少人数で出かける計画をたてる。ご家族にも具体的に、どういう外出を希望されているか尋ねる。	12ヶ月
2	11	利用者様への支援に向けての意見や提案がまだまだ少ない。	利用者様にとって、より良い生活が出来るグループホームを目指す。	利用者様本意の介護を基本に、申し送りやミーティング時に意見交換し、気づきやアイデアを十分に話し合い支援に活かしていく。個々の思いを叶えられるよう、心の奥にある物を探る。利用者様と触れ合う時間を多く持つ。	12ヶ月
3	2	町内会に加入し、おまつりや盆踊りには参加しているが地域住民にとってホームが地域資源には、なっていない。	身近な地域資源をグループホームとして取り上げ出来ることから行ってみる。	ボランティア(演芸等)を招いた時、ご家族や近隣の方に来て頂けるよう声かけする。ボランティア、利用者、家族での畑を通しての交流を深め収穫の喜びを得られる様なプログラムの展開をする。	12ヶ月
4	35	災害時の避難等、地域との協力体制は築けていない。	地域と防災に対する相互協力の関係を確立する。	推進会議で更に話し合いを進める。	6ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。